



【は】っけん・気付く

久遠

【ル】ートを考えつながる

【え】がおを創り出す



春江中学校教育目標

- 自ら進んでよく学び、協力して働く生徒
- 規律を守り、責任を重んずる生徒
- 心身ともに健康で、思いやりのある生徒

「自立」と「共生」

校長 友田 和

新学期が始まり1か月が経ちました。新しい環境にも慣れてきて少し表情にも余裕が出てきました。学校生活をがんばろうとする意欲が感じられ、とても嬉しく思います。

(入学式(令和8年4月7日)式辞より)

中学校の三年間は、心も体も大きく成長する大切な時期です。一日一日を大切に、実り多い毎日を積み重ねてください。そのために、今日は皆さんに二つの言葉を贈ります。

それは、「自立」と「共生」です。

「自立」とは、自分で考え、判断し、行動することです。

誰かに言われるのを待つのではなく、自ら課題を見つけ、「こうしてみよう」「やってみよう」と、自分から一歩を踏み出していくことです。勉強でも、部活動でも、学校生活でも、うまくいくことばかりではないかもしれません。しかし、失敗を恐れず、自分で考え、挑戦し、努力を続けることが、皆さんを成長させてくれます。日々の生活の中で、自分を少しずつ鍛え、できることを増やしていきましょう。

次に、「共生」です。

学校では、さまざまな個性や考え方をもち仲間と出会います。考え方や感じ方、得意なことや苦手なことも、一人一人違います。だからこそ、時には、自分とは違う意見に出会ったり、思い通りにならなかったりすることもあるでしょう。けれど、そうした違いを認め合い、互いを大切に、支え合いながら生きていくことは、とても大切なことです。思いやりをもち、ともによりよい学校生活を築いていこうとする心を、ぜひ育ててください。

そして、「自立」と「共生」は、別々のようでも、実は深くつながっています。

一人一人が自分の考えをもち、自分らしく成長していくからこそ、他者との違いに気づき、その違いを認め合うことができます。

自分を大切にすること、相手を大切にすること、その両方を大事にしながら歩んでほしいと思います。その積み重ねによって、皆さんが将来、変化の大きい社会の中でも、他者と支え合いながら主体的に生きていく力になっていくことを願っています。